

平泉文化セミナー第 83 回例会の開催案内

岩手大学平泉文化研究センターでは、東アジアにおける総合的「平泉学」の構築を図るための一環として、平泉文化セミナーや講演会等を定期的に開催しております。

今般、平泉文化セミナー第 83 回例会を下記により開催しますので、ご都合のつく方はご参加ください。参加費は無料です。

演 題

陸奥国北半における 10 世紀後半以降の地域支配 —集落遺跡を通して—

岩手県立平泉世界遺産ガイダンスセンター 西澤正晴 氏

要 旨：

胆沢城の実態が不明になる 10 世紀後半以降の陸奥国北半（奥六郡）における地域支配については、具体的にどのようにして各集落を支配していたのか実態は不明である。それ以前の時期においても郡衙など行政機能をもつ下位機関についてはそもそもその存在自体不明である。そうした地域ではあるものの、10 世紀後半から 11 世紀における地域支配の実態解明に向けて、集落遺跡の様相や動向をまとめ、前後の時期（9 世紀～10 世紀前半）と 12 世紀の遺跡とも比較しつつ検討を行う。

令和 7 年 7 月 12 日（土）14：30～16：00

岩手大学教育学部 1 号館 2 階 E21 講義室

※終了後、午後 1 時から開催する第 82 回例会「10 世紀後半～11 世紀代の秋田城と出羽北半の地域支配」（神田和彦氏）とあわせて、16：30 ごろまで会場参加者による意見交換を行います。

- ・会場参加のかたは、事前の申し込みは不要です。
- ・Zoom 参加を希望されるかたは、7 月 10 日（木）までに下記連絡先までメールにてお申し込みください。（ただし、視聴のみとなります。）